

NUAL (ニューアル) は Nagoya University Alumni Association の略称です。



上段左：ホームカミングデイ前日の海外支部歓迎会、上段右：TEDxNagoyaU2018

下段：第14回ホームカミングデイにおけるコンサート（中部フィルハーモニー交響楽団）

Upper Left: Welcome party for the overseas branches on the eve of Homecoming Day; Upper Right: TEDxNagoyaU2018

Bottom: Concert of the 14<sup>th</sup> Nagoya University Homecoming Day (Chubu Philharmonic Orchestra)

## Contents

特集1 第14回ホームカミングデイ報告 ..... 2  
Report on the 14<sup>th</sup> Annual Homecoming Day

特集2 TEDxNagoyaU2018の開催 ..... 4  
TEDxNagoyaU2018

同窓会ニュース ..... 5,10  
NUAL News

活躍する会員たち ..... 6  
NUAL People in Action

事務局からのお知らせ ..... 16  
From the NUAL Office

特集では、第14回ホームカミングデイの模様と、同窓会大学支援事業に採択された TEDxNagoyaU2018の様子をご紹介します。同窓会ニュースでは、全学同窓会講演会での榊原副会長のご講演の様子をお伝えします。活躍する会員たちのコーナーでは、AGCの石川さん、中部電力の田中さんにお話しいただきました。

In our special features in this edition, we report on the 14<sup>th</sup> Annual Homecoming Day, as well as TEDxNagoyaU2018, which was selected as a NUAL Support Project. In NUAL News, we take a look at the seminar given by Vice President Sakakibara. In NUAL People in Action, we hear from Mr. Ishikawa in AGC Inc. and Mr. Tanaka in Chubu Electric Power Co.

# 第14回ホームカミングデイ報告

## Report on the 14<sup>th</sup> Annual Homecoming Day

名古屋大学全学同窓会代表幹事  
和田 壽弘



### 1. はじめに

平成30年10月20日（土）の朝はすがすがしく、好天にも恵まれました。今年は例年にも増して異常気象が目立ち、時期ならぬ巨大台風や、夏には連続した猛烈な暑さや豪雨など、行事を開催するに当たっては関係者の不安をぬぐい去れない天候・気候が続いてきました。そんな中であって、行事日和とも言える程の日にホームカミングデイ（HCD）を迎えられたことは、本当に嬉しい限りでした。

### 2. 第14回ホームカミングデイ

「社会の中の大学」というメインテーマの下に、卒業生、在学生・保護者、教職員のみならず近隣住民の方などもお招きしました。天候も幸いして約4,500名の方々に来訪いただきました。

豊田講堂1階シンポジオンホールでは午前10時から、メインテーマに関わる学術講演会が開かれました。古尾谷知浩名古屋大学大学院人文学研究科副研究科長の司会で「人生100年時代に向けた社会と大学の協働」という講演会テーマの下に、詩人の伊藤比呂美さんに「いつか死ぬ、それまで生きる」というタイトルでお話いただきました。パートナー、お父様、愛犬の死を看取った経験を踏まえ、生死についてユーモ

ラスにはありますが、核心を突いたお話でした。介護をする世代の方々も多くお越し下さり、自身の身に置き換えて傾聴された方も多かったです。続いての悩み相談会では、相談者の年代に応じて丁寧な回答をされていた姿が印象的でした。最後に朗読された「般若心経」の現代語訳は、仏教用語を用いず、詩人としての真骨頂を垣間見ました。講演の後には、金山弥平名古屋大学大学院人文学研究科教授、榊原千鶴名古屋大学男女共同参画センター教授、坪井秀人国際日本文化研究センター教授をコメンテーターとして座談会がもたれました。

午後1時30分には、豊田講堂にてメイン行事の「名古屋大学の集い」が開催されました。磯谷祐介さん（平成20年教育学部卒）の司会で始まり、松尾清一総長と豊田章一郎全学同窓会会長の挨拶に続き、全学同窓会代表幹事として私が、ホームカミングデイの趣旨と実施工事、そして全学同窓会の近況を報告しました。今回は、卒業後10周年、20周年、30周年、40周年、50周年、60周年を迎えられた卒業生・修了生を招き、約300名が参加しました。また、抽選で当選された一般の皆様も多数参加されました。



名古屋大学の集い（松尾総長挨拶）



名古屋大学の集い（豊田会長挨拶）



学術講演会



国際交流貢献顕彰受賞者との記念写真

国際交流貢献顕彰授賞式では、ベトナム支部のダン・ホアン・オワインさん（ベトナム司法省・副大臣）、マレーシア支部副支部長のハナフィア・ビン・ユソフさん（マラ工科大学准教授）、ミャンマー支部長のナン・ララウインさん（前ヤンゴン第一医科大学薬理学部長）の3名が受賞され、表彰状と記念品が贈られました。

続いて「名古屋大学の集い」の後半では、中部フィルハーモニー交響楽団のコンサートを堪能しました。チャイコフスキー三昧でした。第1部の「ヴァイオリン協奏曲」はソロ奏者に超絶技巧を必要とする難曲ですが、正戸里佳さんの若々しく快活で時には重厚感のある演奏に引き込まれました。オーケストラとの競演も息がぴったり合っていて素晴らしかったです。第2部の3つのバレエ音楽ではハープを意識して取り上げた選曲と思われ、普段聴く機会が少ない楽器の音色に酔いしました。大序曲「1812年」では、曲の後半部で名大オーケストラの金管セクションが参加して曲を盛り上げた瞬間、天井や両脇から音が鳴り響いて会場全体が舞台と一体化したかの如くで、印象に残る素敵な演奏でした。指揮者の吉田行地さんの軽妙なトークはクラシック初心者にも分かりやすく、聴衆と奏者の一体感をつくりあげていると感じ入りました。

豊田講堂以外の会場では、各部局および同窓会の行事がとり行われ、施設の公開もありました。チラシでは「保護者向け行事」「同窓生向け行事」「一般向け行事」に分類されて表示され、各行事のタイトル・場所・時間帯が一目で判別できるようになって、とても便利でした。市民公開講座は、ノーベル賞受賞者の天野浩教授による講演を含めて14ほど開かれ、盛



海外支部歓迎会

況でした。例年の本のリユース市、農産物の販売、あかりんご隊科学実験、親子ふれあいサッカー教室なども盛況でした。

ホームカミングデイ前日の19日夕刻には、翌日に国際交流貢献顕彰を受けられる方々を迎えて、全学同窓会による海外支部歓迎会を持ちました。豊田章一郎会長、岡田邦彦副会長、齋藤英彦副会長、伊藤義人副会長の参加の下、松尾総長はじめ役員の方々にもお出でいただき、受賞者と楽しいひとときを過ごしました。

### 3. 全学同窓会の新役員

ホームカミングデイの当日に第17回全学同窓会評議員会が開催されました。今年は役員改選の年に当たりますが、全員の留任が認められました。

また、新たに、副会長に西村今日子さん（森松工業株式会社取締役）を、そして監事に児玉光正さん（東桜税理士法人）をお迎えすることになりました。西村さんは中国・スウェーデンの女性の活躍状況にも明るく、また APEC 女性起業家サミットに登壇するなど国際的にも活躍され、全学同窓会の初の女性副会長として期待するところ大です。児玉さんは、平成30年2月に逝去された光岡朗監事と共に、全学同窓会の会計監査に長年関わってこられ、引き続きご指導いただけることになりました。

全学同窓会は皆様のご協力なしでは立ち行きません。物心の両面に渡るご支援をいただけますようお願いする次第です。



中部フィルハーモニー交響楽団コンサート

# TEDxNagoyaU2018の開催

## TEDxNagoyaU2018

平成29年度第2回全学同窓会大学支援事業に採択された TEDxNagoyaU2018の開催の様子をご紹介します。

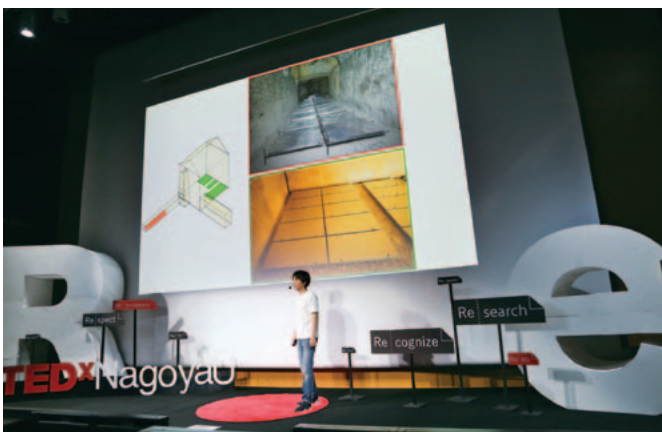
We asked about the state of TEDxNagoyaU2018, which was selected as a NUAL support project for the second time in 2017

TEDxNagoyaU2018 Organizer 金岡 優依  
名古屋大学理学部物理学科3年

TEDxNagoyaU は価値あるアイデアを広めようという TED の精神に基づいて活動する学生団体です。毎年一回名古屋大学にてトークイベントを開催するため名古屋大学の学生を中心に活動しています。2018年度に第6回目である TEDxNagoyaU2018を無事に開催することができました。多くの方々にご参加いただき、TEDxNagoyaU ならではの価値あるトークを楽しんでいただけたと思います。2018年度のイベントテーマは「Re」。この Re は英語の接頭辞で再びや元に戻るといった意味があります。過去を振り返って今を再び見つめなおし、未来へつなげていく。参加者の皆様には自分自身の Re をイベントで感じ、見つけていただきたいという意味合いが込められています。イベントでは9名のスピーカーの方々にご登壇いただきました。例として名古屋大学特任助教の森島邦博先生には、宇宙物理学の研究をピラミッドの内部空間の発見に応用するなどしてきた研究に対する姿勢を熱く語っていただきました。また、株式会社ハモン代表の松村佳依さんには失敗や挫折の経験をもとにすべての人へ送るエールと称し感動体験についてお話いただき、会場全体が涙しスタンディングオベーションまで巻き起こりました。他にも人工知能、落語、音楽など多岐にわたるテーマで参加者の方々に自分

自身の「Re」を見つけていただけたと思います。

また2018年度は名古屋大学全学同窓会のご支援のおかげで例年以上に会場装飾に力を入れ、学内関係者や参加者の皆様からご好評をいただきました。共に一つのイベントを一からデザインし作り上げる喜びを分かち合うことができました。さらには、参加者の皆様、スピーカーの方々そしてスタッフ同士が交流するブレイクタイムで、スピーカーの方のトークで登場する地球ジャイロという科学玩具と Hack for play というプログラミングゲームを展示し参加者の皆様には実際にスピーカーの方のアイデアを体験していただきました。TEDx の醍醐味は人との出会いや繋がりを作ることができるということです。イベントのいたるところで新たな人との出会いが生まれていました。2018年のイベント全体を通じて、ご支援のおかげでより質の高く参加者の皆様に満足いただけるイベントを成功させることができました。私たちは企画から運営まで学生主体で行っています。学生のみで運営することは資金面で難しいことも多く今回支援事業として採択していただいたことは大変幸いです。2019年度も開催予定ですので今後とも学生が頑張る姿を温かく見守っていただきたいです。



森島邦博特任助教のトーク「Cosmic Ray Imaging」



地球ジャイロを体験いただく名古屋大学松尾総長

## 名古屋大学全学同窓会講演会・夕食会報告

「日本経済再生への道」(講師: 榊原定征 日本経済団体連合会名誉会長・東レ株式会社特別顧問・名古屋大学全学同窓会副会長)

名古屋大学全学同窓会 代表幹事

和田 壽弘

名古屋大学全学同窓会講演会が平成30年12月21日(金)に、野依記念学術交流館において開催されました。5回目を迎えます。全学同窓会と一般社団法人学士会との共催で、本学の後援を受け、約130名の参加がありました。例年は12月上旬に開かれることが多かったのですが、会場などの都合により年末が迫る時期となりました。今回は、昨年5月に経団連会長の任期4年を終えて同会名誉会長となられた榊原定征様をお迎えしました。

榊原名誉会長のご講演は名目 GDP の話から始まりました。1993年から2013年まで GDP が上昇しなかった状況で、大手企業では月例賃金引上げ額が年々下降していましたが、経団連会長に就任された2014年度から、引上げ額は大きく上昇したとのことです。2017年度からは「官民戦略プロジェクト10」に着手し、(1) Society 5.0、(2) 世界最先端の健康立国、(3) 環境・エネルギー制約の克服と投資拡大、(4) スポーツの成長産業化、(5) 既存住宅流通、(6) サービス産業の活性化・生産性向上、(7) 中堅・中小企業・小規模事業者の革新、(8) 攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化、(9) 観光立国、(10) 官民連携による消費マインドの喚起策という柱の中で、(1)が「目玉」とのことです。人類社会は狩猟社会・農耕社会・工業社会・情報社会と発展してきましたが、デジタル革新をきっかけに新しい社会 Society 5.0へと向かうと予想されました。この社会では9つの分野で革新を起こそうという狙いです。これまで「六重苦」が重くのしかかっていましたが、円高や法人税の問題は緩和された一方で依然として電力コスト



講演会の様子

や不合理な環境規制などが克服されていない点は、我々も実感します。最後に再生への「起爆剤」として2025年に大阪での開催が決定した万国博覧会「いのち輝く未来のデザイン」への抱負を語られました。

講演会後にグリーンサロン東山において夕食会が開催され、44名が参加しました。柴田昌治全学同窓会副会長の開会挨拶で始まり、松尾清一総長、続いて学士会理事長代理として片岡大造同会代議員に挨拶いただき、そして岡田邦彦全学同窓会副会長に乾杯の発声をしていただきました。昨年10月に就任いただいた西村今日子全学同窓会副会長、木村彰吾名古屋大学理事・副総長、小堀康生学士会事務局長にも挨拶をお願いし、最後に伊藤義人副会長の閉会の挨拶がありました。夕食会を通して多数の立ち話のグループが目立ち、夕食会は全学同窓会活動として成功裏に終わられたとの感を強くしました。



榊原定征氏の講演



夕食会 柴田副会長の挨拶

## 活躍する会員たち NUAL People in Action

「活躍する会員たち」では、同窓会会員の各界におけるご活躍ぶりを紹介しています。第31回は、法学部を卒業され AGC で海外に向けてご活躍の石川佳樹さん、工学部を卒業され、中部電力で産学連携等にもご活躍の田中宏幸さんにお話しいただきました。

NUAL People in Action introduces the activities of alumni in various sectors. In this 31<sup>st</sup> edition, we hear from Mr. Yoshiki Ishikawa, a graduate of the School of Law who now has an international career with AGC Inc., and Mr. Hiroyuki Tanaka, a graduate of the School of Engineering who now has a career in Industry-Academia Collaborations in Chubu Electric Power Co.

### 石川 佳樹さん



#### ■略歴

- 2009年 名古屋大学法学部卒業  
旭硝子株式会社（現 AGC 株式会社）入社 法務部へ配属
- 2013年 経産省 国際化促進インターンシップによりミャンマー商会議所連盟へ派遣
- 2014年 経営企画部へ配属
- 2017年 オートモーティブカンパニー モビリティ事業本部 車載ガラス事業部へ配属

#### 『AGC（旭硝子）とは』

AGC 株式会社（2018年7月1日付けで旭硝子株式会社より社名変更）は、建築用窓ガラス、自動車用窓ガラス、液晶ディスプレイ用ガラス、スマートフォン用カバーガラスといったガラス製品に加えて、化学製品、電子製品用部材、セラミックス製品等を製造・販売する素材メーカーです。複数の主要事業で世界トップクラスのシェアを有しています。

#### 『大学時代』

私の大学時代の主な関心事項は海外、特にアジア地域でした。留学生支援サークルに所属し、多くのアジア地域からの留学生と接するうちに、成長余地の大きいこの地域に興味を持つようになっていきました。

4年時には大学を休学し、私以外は全員現地人のインド企業で8か月間のインターンシップを経験しました。現地日系企業向けの営業を担当としてお客様と現場の板挟みに遭いながらも、常識や価値観の違いを超えて仲間と働く面白さを体感できたことは、学生だった私にとって得難い経験となりました。この経験を通して、アジア地域でのプレゼンスが大きく、現地に工場などの大きな事業体を持つ製造業で働いてみたいと思うようになりました。

インターンシップ中、現地メーカーの自動車の窓ガラスを見たところ「ASAHI INDIA」と刻印されていました。

「現地メーカーに部品を供給する日本企業もあるのか」と思ったのが、AGC との最初の出会いです。

#### 『法務部に配属』

大学卒業後の2009年4月に AGC へ入社し、本社の法務部に配属されました。2013年までの4年間は、主に契約作成・交渉といった事業部門への法務支援業務に従事しました。担当する事業の状況を具体的に把握し、できる限り事業部門の方針に沿ったアウトプットを出すことを心掛けました。M&A の交渉等のチャレンジングでやりがいのある案件にも早期から携わることができた一方で、忘れられない失敗や後悔も数多く経験しました。今となってはそれらが非常に良い教訓になっています。

#### 『人生二度目の海外インターンシップでミャンマーへ』

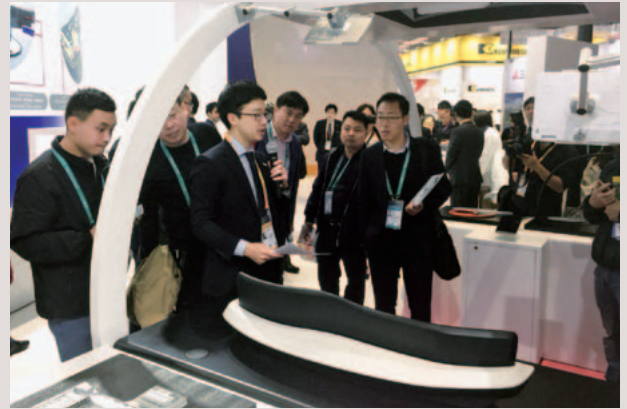
法務部での業務は充実していたものの、ある日突然上司から「経産省の国際化促進インターンシップに応募し、



UMFCCI でのセミナーにて



ミャンマーのレストランにて



中国展示会にて来場者に商品説明

合格したら半年間ミャンマーに行ってほしい」と告げられました。入社以来、事あるごとに海外に行きたいと言っていた私にとっては願ってもない機会でした。

幸い合格することができ、2013年8月から2014年2月までミャンマー商工会議所連盟（UMFCCI）の調査部に派遣され、同機関での日本に関連する調査業務や各種イベントの企画業務に携わりました。また、2013年11月に開催された経団連との日本ミャンマー合同経済会議の企画にミャンマー側の窓口として携わることができました。

二回の現地組織で周りは全員現地人という経験を通して、（言葉の問題ではなく）意思疎通の難しさを痛感

するとともに、私なりの相互理解構築や意思疎通のスタイルの基礎を身につけることができたのではないかと感じています。

#### 『ミャンマーからの帰国後』

インターン終了後、経営企画部へ異動となり2014年3月から2016年12月まで AGC グループのアジア地域での海外投資プロジェクトに携わりました。当該地域での新規投資や合併事業等複数の案件のフィジビリティスタディ、投資判断、相手方との交渉に携わることができました。

法務、経営企画としてキャリアを積むうちに、事業の最前線を経験してみたいと思うようになりました。そこで、異動の希望を出して2017年に自動車のナビゲーション用パネルやメーター用パネル向けのカバーガラス（ディスプレイのカバーとして最前面に取り付けるガラス）を製造・販売する部門に異動しました。主に海外のお客様向けの営業を担当として、市場の拡大やお客様のニーズの変化がダイナミックに起こっている事業環境の中、日々起こる新しい課題に取り組んでいます。

#### 『最後に』

グローバルな環境でビジネスをしている中で中国企業やスタートアップ企業の台頭を目の当たりにし、日本の製造業の危機を感じることもあります。一方で、技術面・品質面で日本の素材製造業が強みを生かすことができる領域が存在すると考えています。

自動車用カバーガラス市場のトップランナーとしてお客様のニーズに応えていくことで、市場とともに弊社が成長していく過程に貢献していきたいと考えています。



UMFCCI が入居する建物

## 田中 宏幸さん



### ■略歴

1963年	愛知県名古屋市生まれ
1982年	名古屋大学工学部入学
1987年	名古屋大学工学部電気学科卒業
同 年	中部電力株式会社入社
現 在	技術開発本部 技術企画室 企画グループ 課長

私は、名古屋市に生まれ育ちました。鉄鋼会社で電気設備の責任者を務め、後に自営で電気設備の保安管理をしていた父の影響もあって、いつの頃からか「電気」を学び、電気の技術者になりたいと考え、工学部の電気学科を志望しました。

優秀な学生ではなく、人より時間をかけて学びましたが、個性的な先生方、先輩方から様々なもの見方を教わったことが、一番の収穫だったかもしれません。電気工学を幅広く学ぶ中で、当時増え始めたコンピュータを扱う情報系に魅力を感じながらも、いわゆる強電系への傾倒が進み、電力会社を志望しました。

中部電力入社以来、火力発電所で電気設備の保修（メンテナンス）業務を主に担当してきました。電力会社は目に見えない「電気」という製品を作り、お届けしていますが、火力発電所は、製品組み立て用のベルトコンベアがないだけで、まさに工場です。巨大な発電機、変圧器、遮断器、制御盤から小さなセンサ、リミットスイッチまで保修対象は多岐に渡り、電気事象だけでなく、振動、熱、流体（油、水、空気等）事象に対処が必要で、工学的関心は尽きませんでした。

現在、緑区大高町にある技術開発部門で、産学連携を含む社外対応全般を担当しております。当部署に来てから、長年ご無沙汰していた名古屋大学にも伺う機会が増え、教員になられた先輩、後輩諸氏と交流しながら、現場の課題解決や、新技術導入に向けた研究立案の架け橋役を務めております。

弊社を取り巻く状況は、電力・ガス全面小売自由化を契機に、業種や業態の垣根を越えて競争環境は厳しさを増しています。競争といっても携帯電話等通信事業に起きたような変化とは異なることを、みなさまもお気づきのことと思います。会社の形がどのように変わろうとも、中電グループの企業理念は変わりません。引き続きグループ一丸となって「変わらぬ使命の完遂」と「新たな価値の創出」を同時に達成することで、「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」を目指しています。

「一歩先を行く」ということは、「他社に先んじる」という意味だけでなく、「お客さまの期待を先取りし、超える」という意味があります。

自ら考え、挑戦し、お客さまに選び続けていただくために、より付加価値の高い新たなサービスを提供していく必要があります。技術開発はその鍵となるものと考えています。

毎年10月頃、大高町の技術開発本部にて「テクノフェア」を開催しております。2日間で約3,000名のお客さまにご来場いただき、弊社の技術開発の取り組みを知っていただくとともに、お客さまからの期待と関心を知る良い機会となっております。「電力会社がそのような分野まで研究するの？」と驚かれるような分野まで多彩に取り組んでいますので、ご都合がよろしければお出かけください。

さて、今や、「ライフ・ワークバランス」が問われる時代なので、後半は私の趣味をご紹介します。

「音楽」とあらたまって言う構えてしまう人も、





演奏会前リハ様子  
(2018.2.25 刈谷市総合文化センター大ホール)



改装後の愛知県芸術劇場コンサートホール  
(2019.2.3 演奏会当日)

カラオケなら好きだったり、ジャズやインストゥルメンタルなら聴いたりする人もみえるでしょう。私は音楽全般が好きで、クラシック、ポップス、ロックから童謡、演歌まで何でもござれといった感じです。音楽は、字の通り「音」を「楽しむ」ことなので、聴く楽しみほかに合奏する楽しみがあり、また聴かせる＝聴いてもらう楽しみも格別です。そんなわけで、大学で演奏者としてアマチュアオーケストラに参加して以来、37年が経とうとしています。

私は、ヴィオラというヴァイオリンより少し大きい弦楽器を弾いています。皇太子様が演奏されるニュースなどでご存じの方もみえるでしょうか。

ヴィオラの役回りは、人間の体で例えるとへそあるいは足の指とも言われます。目立たないけど重要な存在なのですね。他のソロ楽器のように輝く大きい音が出せなくとも、中低音域で和音や旋律を支えています。

現在、規模の違う二つのオーケストラに参加しています。演奏する曲目が異なり、それぞれに楽しさが違うからです。普段の練習は、自宅では子供達の

こともあり思うように出来ませんが、その分、週末合奏練習の場で、目一杯集中して弾いています。全ては、ご来場いただいたお客さまの拍手を夢見ながら、また演奏会後の美酒を楽しむために練習を積み重ねて本番に臨みます。

クラシックでも古典派など小編成の曲がお好きなら11月、下記①のコンサートへ、大編成の曲、マーラーなどの作曲家がお好きなら2・3月頃、下記②のコンサートをお勧めします。どんなに高級な音響設備で聴くよりも良い「生音」の醍醐味を体験してみませんか。是非お出かけください。

①アンサンブル名古屋：2019年11月17日（日）

しらかわホール

ハイドン 交響曲第99番、

エルガー エニグマ変奏曲ほか

<http://www.cc.rim.or.jp/~mrinoue/>

②名古屋ムジークフェライン管弦楽団：

2020年2・3月頃

(開催日・会場・曲目 未定)

<http://www.musikverein.jp/>

# 同窓会ニュース NUAL News

## 大学支援事業目録贈呈

平成30年11月8日（木）、平成30年度第3回幹事会において、全学同窓会大学支援事業（平成30年度第1回）採択者に目録が贈呈されました。

今回は、9件の応募から、表の6件が採択されました。

事業の内容は、実施後に本誌で紹介され、全学同窓会 HP でも公開されます。

また、これまでに採択した事業を全学同窓会 HP で公開しています。

### 平成30年度第1回 採択事業

所属・職名等	申請者	事業名
生命農学研究科長	川北 一人	平成30年度 名古屋大学ホームカミングデイ部局行事「同窓生在籍企業の紹介」の開催
法政国際教育協力研究センター・センター長	國分 典子	ダン・ホアン・オワイン司法副大臣講演会
人文学研究科・研究科長	佐久間 淳一	文学部創立70周年記念事業
学生相談総合センター・准教授	船津 静代	「青年期の心を育てるセミナー」
大学院法学研究科・特任教授	松浦 好治	Global Leadership Programme への学生・大学院生の参加支援
工学部 機械・航空宇宙工学科 2年	安形 尚憲	名古屋大学人力飛行機製作サークル AirCRAFT 鳥人間コンテスト出場及び優勝に向けての機体製作及び運用



採択された事業代表者の方々

## 支部・部局便り News from the Alumni Associations of Different Schools and Regions

部局や地域ごとの同窓会から寄せていただいた便りを掲載します。それぞれが全学同窓会と連携しながら活動しています。

Here you can find announcements and news from alumni associations of schools and/or regions. These associations and NUAL are cooperating with each other to everyone's benefit.

### 関東支部 NUAL Kanto Branch

#### 全学同窓会関東支部平成30年度講演・交流会開催

平成31年2月9日（土）14:30から、名古屋大学全学同窓会関東支部平成30年度講演・交流会が、関東支部設立15周年ということで学士会館において開催されました。雪が降る中、75名が参加しました。



河江准教授の講演

講演会では、エジプト考古学者の名古屋大学高等研究院河江肖剩准教授に「エジプトのピラミッド研究の最前線」と題して、エジプトのピラミッドの歴史、ドローンによる三次元計測結果に基づくピラミッドの構造研究などについて講演をして頂きました。4500年前の建造物であるピラミッドについて、精密な記録を取り、検証することで神秘性をはぎ

取るという視点で、古代における建造物の成り立ちを研究していることを示されました。3日後には、また、エジプトに行かれるとのこと、今後のご活躍を期待しております。

講演終了後、集合写真を撮影し、交流会場へと移動しました。

交流会は、丹羽宇一郎支部長の開会挨拶により開始されました。続いて、松尾清一総長から「名古屋大学の現状と未来への挑戦」と題してご講演をいただきました。

和田壽弘全学同窓会代表幹事の乾杯の音頭で交流が始まりました。着席ビュッフェスタイルということもあり、それぞれのテーブルで、皆様、和やかにご歓談をしておられました。記念に、河江先生のところで、写真を撮られる方々もおられました。

会も終わりに近づき、南方陽遠州会会長のご挨拶、小堀康生学士会事務局長からの学士会紹介があり、新井清隆名大男声東京OB合唱団団員の指揮の下、全員で学生歌「若き我等」を合唱しました。

最後に、片岡大造関東支部顧問が閉会の挨拶をされ、大変和やかな内に散会となりました。

(関東支部事務局長 岸 徹)



参加者集合写真

## 関西支部 NUAL Kansai Branch

### 関西名法会講演会、懇親会

関西名法会では、平成30年10月27日(土)に以下の講

演会、懇親会を開催いたしました。

開催日時：平成30年10月27日(土)

講演会 11:00~12:00

昼食・懇親会 12:00~13:00

場 所：中央電気倶楽部

住 所：大阪市北区堂島浜2-1-25

T E L：06-6345-6351

講演者：藤田修二 (S40卒) (毎日新聞社元大阪本社代表室長。現「ジャーナリズム研究関西の会」幹事)

演 題：フェイク、働き方、内部的自由などメディアをめぐる話題

責任者：会長) 脇田喜智夫 (S50卒)

問合せ：名法会事務局) office@goshominami.jp

## 同窓会支援事業 NUAL Support Project

全学同窓会の活動理念に沿った名古屋大学の活動(学生活動、就職支援事業、本部・部局による行事・寄附講義等)を支援するため、公募型の大学支援事業を実施しています。

NUAL has an open invitation type support project for Nagoya University's activities (including student activities, employment support service, events and lectures) in harmony with the activity principle of the association.

### NUFSA 留学生の家族のための日本語・日本事情 コース ベビーシッターボランティア継続プロジェクト

申請代表者：Lee Vincent Cherng Hsi  
(工学部機械航空工学科4年)

NUFSA(名古屋大学留学生会)では、1987年より「NUFSA 留学生の家族のための日本語・日本事情コース」を主催し、留学生に帯同して来日した家族(主に配偶者)に日本語や日本文化を教え、孤独になりがちな家族たちの新しい環境への適応を支えています。コースは、名古屋大学留学生後援会からの補助金、地域ボランティアグループからの後援、名古屋大学国際教育交流センターの協力等により運営しており、これまでの受講者はのべ2,500名以上になります。

毎期の受講者25~50名の3分の1程度が育児中です。子どもたちは来日後すぐには保育園・幼稚園には入園できないため、幼児を連れてコースに通うお母さん・お父さん受講者もいます。彼らが授業に集中できるよう、長年地域ボランティアグループ「ひろば」がベビーシッターをしてくださっており、コース継続の大きな力となってきました。しかし、他の多くのボランティアグループと同様、「ひろば」もメンバー減少や高齢化の問題を抱えて、昨年は解散の危機に直面していました。ベビーシッ

ターがないとコース運営そのものが難しくなりますので、私たちは本当に困っていました。

そこで「ベビーシッターボランティア継続プロジェクト」を立ち上げ、様々な工夫をしました。これまで無料で行っていた託児を、一部受講者負担にしました。また大学の協力により、ボランティア増員のための広報活動も行いました。そして、全学同窓会から貴重なご支援をいただいたおかげで、「ひろば」のボランティアの方たちの交通費程度がカバーできる仕組みを作ることができました。その結果、昨年から今年にかけてボランティアの人数が増えてきて、毎回の授業でベビーシッターのシフトが問題なく組めるようになりました。当初は名古屋市子育て支援の有償人材派遣を依頼する予定でしたが、「ひろば」が充実したことで、毎回異なる方の派遣を受ける必要がなくなり、よりよい託児環境を提供できるようになりました。



イベント時のベビーシッターの様子

今後も持続可能な形にするには、さらに様々な工夫が必要です。これまでのように、留学生の家族が来日当初から日本語の勉強ができるよう、子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう、また、名古屋大学の国際化に貢献していけるよう、皆様のご協力を得ながら努力していきたいと思っています。

## 名古屋大学アフリカ学生会設立プロジェクト

申請代表者：リ・チェルノ

(国際開発研究科博士前期課程2年)

アリソン ティミパー フェリックス

(国際開発研究科博士後期課程3年)

With financial support from the Nagoya University Alumni Association (NUAL), ASANU has organized two major public events since its formation in 2017.

### Launching Event

ASANU was launched on 28 October 2017. The event held at the Friendly Nambu Hall in Nagoya University and was attended by students and staff of the university and other invited guests from within and outside Nagoya. The event marked the official unveiling of ASANU as a recognized student body under the regulation of Nagoya University.

### Africa Day Event

The “Africa Day 2018” event held on May 26. It was organized in collaboration with the Advising & Counseling Services, International Education & Exchange Center, Nagoya University. The event held at the Symposion Hall of Toyoda Auditorium, Nagoya University and had in attendance over 80 guests from within and outside the university community. The Vice President of Nagoya University Professor Watanabe Yoshihito, gave a goodwill message on behalf of the



Africa Day 2018

university administration.

Highlights of the event include:

- African traditional dance
- African poetry
- Quiz about Africa
- African fashion display
- Live music by jazz and gospel singer Prisca Molotsi
- Djembe performance by AMA AFRICA

ASANU is indeed grateful to NUAL for the kind financial support without which the two events would not have been successfully organized. The association looks forward to greater partnership with NUAL.

## ホー・ペン国立経営大学学長の外務大臣表彰及びカンボジア日本法教育研究センター設立10周年記念祝賀会

申請代表者：小畑 郁

(法政国際教育協力研究センター・センター長 (実施当時))

大学院法学研究科及び法政国際教育協力研究センターは、2008年9月、カンボジア・王立法経大学に「日本法教育研究センター」を設立し、2018年に設立10周年を迎えました。法学研究科修了生であり、同センター開所当時に王立法経大学行政学部長として開所にご尽力され、現在カンボジア・国立経営大学学長のホー・ペン氏は、2017年9月、平成29年度外務大臣表彰を受けました。本賞は、日本と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人及び団体について、その功績を称えるものであり、ホー・ペン氏の受賞は、現職の国立経営大学学長として日本の大学との学術交流促進への貢献に加え、前職の王立法経大学行政学部長として日本法教育研究センターの設立及びその後の円滑な運営への貢献が評価されたものでした。



挨拶をするペン学長 (左)

今回、カンボジア日本法教育研究センター設立10周年記念式典とあわせて、2018年2月25日、ホー・ペン氏の外務大臣表彰及びセンター設立10周年祝賀会を開催しました。祝賀会には、カンボジア支部同窓生、日本法教育研究センター修了生・現役生、本学教職員に加え、名古屋大学法学部卒業生をはじめとする日本の経済界からの参加者を含む約80名が出席し、有意義な交流の場を設けることができました。ホー・ペン氏は、全学同窓会カンボジア支部設立時の2008年9月から2011年6月1日まで支部長を務められ、多くのカンボジア支部同窓生とともにホー・ペン氏の表彰及びセンター設立10周年を祝うことができました。

また、翌日の2月26日（月）には、カンボジア日本法教育研究センター設立10周年記念式典が、カンボジア・王立法経大学において開催されました。10年間の教育により、修了生は、憲法院、日系法律事務所、JICA 法整備支援プロジェクトオフィスなどに勤務し、活躍しています。式典には、カンボジア、日本からの来賓者、在学生、修了生を含め、約150人が出席しました。式典終了後、カウンターパートである王立法経大学、カンボジア司法省、日本大使館、JICA カンボジア事務所・法整備支援プロジェクトオフィス、日本カンボジア法律家の会などよりご参加いただき、10周年記念昼食会を開催し、今後の日本法教育研究センターが担う役割について懇談しました。なお、両会合には、名古屋大学全学同窓会よりご支援いただきました。

## 国際セミナー：持続可能な開発目標 (SDGs) と新国際開発協力パラダイム

申請代表者：伊東早苗  
(大学院国際開発研究科)

平成3年に設立された大学院国際開発研究科 (GSID) は、自立的研究・実務能力を備え、国際開発協力の進展に資する研究者および高度専門職業人の養成を目指してきました。GSID は、これまでに87カ国・地域から1,142名の外国人修了生を輩出してきましたが、そのうち859名はアジア諸国・地域



1周年記念事業

出身者です。本研究科は名古屋大学の国際化戦略、特にアジアのハブ戦略の重要な担い手であると言っても過言ではありません。

2015年に国際連合は、2000年から実施してきたミレニアム開発目標の終了を迎え、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に向けて動き出しました。こうした状況を受けて国際開発研究科でも、平成30年度には、SDGsに鑑みたプログラムの構成およびカリキュラムを変えて新たなスタートを切りました。新生GSIDは、国家中枢人材の育成に加えて、世界で活躍できる企業人材を育成していきます。その過程では、国際開発研究科ばかりでなく、名古屋大学の卒業生のネットワークが重要なことから、新生GSIDのお披露目と、これからの新しい展開の方向性を示すべく、平成30年7月7日に、同窓生を招聘し、現役およびOB・OG教員、現役生を交えて、「プロジェクトNUMIRAI」の一環として国際セミナーを開催しました。名古屋大学創立80周年を目前に控えて開催する国際セミナーは、名古屋大学の卒業生のネットワークをより強固にし、名古屋大学が新たな展開を迎えるための最初の取り組みとなりました。

基調講演者には、名古屋大学にゆかりがあり、海外でSDGsの実現に貢献している世界銀行の石原陽一郎氏(ブータン担当駐在代表)(GSID卒業生)と平野夢香氏(エコノミスト)(GSID卒業生)に、これからの世界で求められる国家中枢人材の現状と展望について基調講演を行っていただきました。続いて、現在国連食糧農業機関で活躍する卒業生であるインブリ・チャールズ・ボリコ氏(駐日連絡事務所所長)(GSIDの第1期卒業生)、立命館大学教授の嶋田晴行氏、琉球大学名誉教授の嘉数啓氏(元GSID教員)を迎え、現役およびOB・OG教員、国内外の同窓生・現役生によるパネル・ディスカッションを通して、各分野から同テーマに対する有益な意見が出されました。最後に懇談会を開催し、旧交を温めることを通じ、同窓会組織の強化と同窓生のネットワーク構築を図るとともに、同窓生相互の発展と連帯強化に寄与しました。

## 世界で活躍する研究者を養成する Stand-up Comedy ワークショップの開催

申請代表者：曾 伊  
(情報学研究科博士後期課程2年)

この度、名古屋大学全学同窓会の支援を受け Stand-up comedy ワークショップを開催致しました。ワークショップは11月23日から25日の3日間行われ、14名の本学学生が参加しま

した。今回はワークショップの講師として研究者による Stand-up comedy を用いた Public engagement の本場であるイギリスから Steve Stephen Cross 博士を招聘しました。

ワークショップでは学生が自身の研究について笑いを交えて発表するための技術を学びました。一日目は、講師が参加者たちと一緒に典型的な Comedy 表現を分析し、発表スクリプトをうまく書くための練習をしました。二日目は、参加者が一日目の講義で学んだ技術を用いた上、スクリプトを作成しました。その後、講師・参加者からフィードバックを受けながらその技術を実践的に身に付けました。最終日には参加者による発表を行いました。すべての参加者がワークショップで学んだ技術を生かして、すばらしい発表を行うことができました。

参加者からは、「以前は人前で話すことが苦手だったが、人前で話すことが楽しくなった。またワークショップが開催されたらぜひ参加したい」、「緊張せずリラックスして話すことができるようになった。人前で発表することに自信がついた」、「普段は同じ研究室の仲間とばかり交流しているが、今回のワークショップは研究室から出て、様々な専攻の人と関わるいい機会になった。」、「専門外の人にも自分の研究を理解してもらえることが実感できて、嬉しかった。」といった感想を聞くことができました。

今回のワークショップ開催は初めての試みでしたが、多くの皆さまの協力を受け無事終えることができました。全学同窓会の皆様や推薦者の杉山直先生をはじめ、協力いただいたすべての皆さまにこの場を借りてお礼申し上げます。



発表の様子

## 2017年度フィリピン看護学研修

申請代表者：原田江美子  
(看護学専攻博士前期課程2年)

今回、名古屋大学全学同窓会からの支援を受け、フィリピン看護学研修に参加することができました。現地ではフィリピン大学看護学部の学生とともに、Philippine General Hospital, Barangay Buhey Mahalaga health center での

実習、WHO 西太平洋地域事務局(WPRO)訪問、Mother Teresa House での実習、Hospicio De San Jose での実習といった多彩なプログラムを体験することができました。フィリピン大学の看護学生との実習では、日本の医療や看護の違いについて体験することができました。その中で、日本と比べフィリピンでは、家族の絆の強さや宗教が生活に根付いていることを学び、現地において実習することで異文化看護についての学びをより深めることができました。

今回、WHO 西太平洋地域事務局(WPRO)を訪問できる貴重な機会も与えられました。WPRO では、途上国における健康問題への取り組みについてレクチャーを受けました。その中で一番関心をもったことは、途上国における新生児死亡を減らすためのアクションプランです。日本における周産期医療は世界でもトップクラスですが、途上国では妊産婦死亡や新生児死亡が大きな課題となっています。現在、WPRO が取り組んでいる新生児死亡を減らすためのアクションプランについて教えていただきました。その取り組みが、今回研修を受けた各施設で実践されていることを確認することができました。今まで日本における健康問題にしか目を向けることができませんでしたが、今回の研修を通し、世界における健康問題にも視野を広げることができ、関心をもつ機会となりました。

また本研修後には学内で報告会を開催し、学部生・大学院生・教員が参加してくれました。報告会後のアンケートでは、「フィリピンにおける医療や看護教育について知ることができた」、「異文化看護について考える機会となった」という回答を全員の参加者からいただくことができました。

日本において、外国人登録者数は増加しており、日本人医療職が異文化背景を有する外国人患者へケアを提供する機会は増加しています。本研修で学んだことを実習や臨床の現場で活かしていけるようにしていきたいです。

なお、今回の研修をコーディネートくださった名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻・入山茂美教授、現地にてお世話になりましたフィリピン大学看護学部の Bonito 看護学部長はじめ、看護教員の方々に心より感謝いたします。



フィリピン総合病院での実習の様子

## 同窓会・大学行事カレンダー

全学同窓会、部局同窓会、及び、大学に関する行事が下記のとおり開催されます。  
詳細は、全学同窓会ホームページ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/> をご覧下さい。

### ○関東支部

#### 1) 東山会関東支部第12回総会

日 時：5月11日（土）13時より

場 所：学士会館

日本経団連名誉会長 榊原定征氏（東レ特別顧問）による特別講演を予定しております。

詳細については、東山会関東支部 HP

<http://www.higashiyamakai-kanto.com/>

問い合わせは支部長山本まで。

E-mail：yamamotoma3@jcom.home.ne.jp

#### 2) 東京キタン会

##### 〈定期総会〉

2018年度の事業報告・決算報告と2019年度の事業計画・予算を審議します。午後には講演会及び懇親会を予定しています。

日 時：2019年6月22日（土）11時～15時

開催場所：学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28）

連絡先：東京キタン会事務局 宮坂典男

E-mail：nmk\_njp@ezweb.ne.jp

##### 〈ゴルフ会〉

東京キタン会メンバーの有志によるゴルフ会です。2019年度は3回の開催を予定しています。

日 時：2019年4月8日（月）、6月10日（月）、10月21日（月）

開催場所：川越グリーンクロス

連絡先：東京キタン会事務局 宮坂典男

E-mail：nmk\_njp@ezweb.ne.jp

##### 〈秋の催事〉

2018年度は「川越秋の歴史散策」と称し小江戸川越を楽しみました。2019年度の企画はこれからですが、決まりましたら改めて報知させていただきます。

日 時：2019年11月に開催の予定（詳細未定）

開催場所：未定

連絡先：東京キタン会事務局 宮坂典男

E-mail：nmk\_njp@ezweb.ne.jp

#### 3) 2019年名大鏡友会東日本支部総会・講演会・懇親会

新たに発足した鏡友会として初めての総会です。

講演会は、前経団連会長、榊原定征様の「日本経済の再生について」です。

日 時：5月26日（日）13時より

場 所：学士会館

会 費：5000円

ホームページは以下です。

<http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/kyoyu-kai/plan.html>

問い合わせ先：新井清隆（世話人代表）

E-mail：araiykt0217@yahoo.co.jp

#### 4) 共晶会関東支部 第34回総会

特別講演として、名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授 興戸正純先生を予定しております。

日 時：2019年11月10日（日）11：00～14：30

場 所：学士会館 302号室

連絡先：黒岩和典（1977年戸澤研卒）

kuroiwa779618@gmail.com

kuroiwa@angel.ocn.ne.jp

#### 5) 名古屋大学医学部学友会首都圏支部会（総会 講演会 懇親会）

日 時：2019年7月13日（土）17：00～20：00

場 所：学士会館

東京都千代田区神田錦町3-28 電話：03（3292）5936

講演会：「この故郷（くに）のかたち」

演者 名古屋大学 医学部長 門松健治先生

連絡先：支部長 松田達男 090-9206-0567

matudatatuo@gmail.com

#### 6) 農学部同窓会関東支部新規卒業生の歓迎会

名大の農学部又は大学院を今年卒業し関東地域に来られた方を対象に歓迎会を開催します（昼食会を兼ねた懇談会で新規卒業生は無料）。

日 時：2019年5月25日（土）11：00～15：00

場 所：学士会館

内容と申込方法：支部ホームページに掲載しています。

担 当：支部事務局長 春日井 治

支部ホームページ：<http://www.nua-alumkanto.sakura.ne.jp/>

#### 7) 農学部同窓会関東支部第22回総会

日 時：2019年11月30日（土）13：30～17：30

場 所：学士会館 302号室

内 容：名大農学部関係者による講演と懇親会を予定しています。

講演（仮題）「驚きの性の進化史」

松田洋一さん（名古屋大学生命農学研究科教授）

講演（仮題）「世界の紅茶とその試飲」

三浦宣安さん（三井農林茶技術顧問）

担 当：関東支部長 石川靖文

E-mail：alum-kan@agr.nagoya-u.ac.jp

支部ホームページ：<http://www.nua-alumkanto.sakura.ne.jp/>

### ○名大遠州会

#### 名大遠州会第24回同窓会

日 時：2019年6月8日（土）18：00～

場 所：オークラアクトシティホテル浜松

連絡先：名大遠州会同窓会事務局長 鈴木鉄郎

E-mail：enshuszk@yahoo.co.jp

### ○関西支部

#### 1) 関西支部第14回総会、懇親会

関西支部では、下記の日程で第14回総会、懇親会を開催いたします。大学から松尾総長、和田代表幹事にもご出席いただきます。多くの会員の皆さまのご参加をお待ちいたしております。

開催日時：2019年5月18日（土）14時から19時

場 所：中央電気倶楽部

住 所：大阪市北区堂島浜2-1-25 TEL：06-6345-6351

ご挨拶：藤井眞澄（名古屋大学全学同窓会関西支部長）

\*講演会（5階大ホール）

講演者：吉田守孝氏（トヨタ自動車株式会社副社長、同社TNGA

推進部統括）（S55年名古屋大学工学部機械科卒）

題目：未定

\*総会（5階大ホール）

和田壽弘（名古屋大学全学同窓会代表幹事）

題目：全学同窓会活動報告

松尾清一（名古屋大学総長） 題目：未定

\*懇親会（3階大食堂）立食形式（予定）

連絡先：関西支部事務局長：脇田喜智夫

（御所南法律事務所 TEL075-253-0777）

Email：office@goshominami.jp

関西在住会員の皆さまには、追って講演内容、参加費等の詳細を、個別にご案内いたします。また、全学同窓会ホームページでもお知らせいたしますので、ぜひご覧ください。

#### 2) 第15回名古屋大学農学部同窓会関西支部総会

日 時：2019年11月9日（土）10：00～15：00

場 所：中央電気倶楽部

連絡先：関西支部事務局 寺前朋浩

〒669-1103 西宮市生瀬東町37-23

E-mail：rikamoto@ares.eonet.ne.jp

## ○名大農学部同窓会

2019年度名古屋大学農学部同窓会 評議員会、総会、講演会、懇親会

今年度は名大祭期間中ではなく、名古屋大学ホームカミングデーに合わせて開催いたします。詳細は、農学部同窓会 セコイア会 HP (<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~dosokai/>) にてご案内いたしますので、後日ご確認ください。

### \*評議員会

日 時：2019年10月19日（土） 昼頃  
場 所：名古屋大学農学部

### \*総会、講演会

日 時：2019年10月19日（土） 午後  
場 所：名古屋大学農学部  
会 費：無料

### \*懇親会

日 時：2019年10月19日（土） 夕刻  
場 所：名古屋大学農学部（予定）

連絡先：農学部同窓会 総務 水口智江可  
E-mail：c\_mina@agr.nagoya-u.ac.jp

## 事務局からのお知らせ From the NUAL Office

### ●支援会費のお願い Call for contributions

名古屋大学全学同窓会の活動は、皆様からの支援会費、寄附金に支えられています。支援会費は年度ごとのお支払いとなります。皆様のご協力をお願いします。

### ○支援会費 Supporting Fee

支 援 会 員 Supporting member : 一口 5,000円  
支 援 法 人 会 員 Supporting institution : 一口 50,000円

### ○お支払い方法

郵便振替 Post Office Account 口座番号：00860-8-113043

自動引落利用ご希望の方は、預金口座振替依頼書をお送りしますので、同窓会事務局にご連絡ください。

### ●住所等の登録・変更について NUAL member registration

全学同窓会では、名古屋大学と連携して、名古屋大学卒業生等電子名簿を整備し、大学及び同窓会からの情報発信を行っています。住所等の変更があった場合は、名古屋大学卒業生等電子名簿システム (<https://web-honbu04.jimu.nagoya-u.ac.jp/nual/>) に入力いただき、情報を更新いただきますようお願いいたします。

お問合せ先：名古屋大学 Development Office (DO 室) 卒業生等電子名簿担当  
052-747-6559 (9:00~16:00) sotugyoumeibo@adm.nagoya-u.ac.jp

## 「名古屋大学カード」の入会のご案内

### ～名古屋大学カードで繋がる大学支援～

全学同窓会は、同窓生と母校との連携強化・大学支援の充実を目指し、「名古屋大学カード」を発行しており、利用金額の一部が同窓会に還元されます。

### ◆名古屋大学カード～ゴールド～

入会者は**16,000**名を超えています。



#### 年会費永年無料!

家族会員様も1名様に限り無料。

#### ポイントがたまる!

家族会員様のご利用分もまとめて本会員様へ付与。

- 国内・海外旅行傷害保険付帯 最高3,000万円
- ショッピング保険 年間補償限度額 200万円
- 空港ラウンジサービス

#### 入会方法について

##### ① WEBからのご入会を希望の方

名古屋大学全学同窓会 HP からお申込みください  
⇒ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

##### ② 入会申込書からのご入会をご希望の方

名古屋大学全学同窓会へ入会申込書をご請求ください  
⇒ TEL/FAX: 052-783-1920 (受付: 9:00~17:00)

### ●カード優待サービスの企業を募集しています。

### ●ニュースレターへの企業広告を募集しています。

いずれも詳細は全学同窓会事務局へお問い合わせください。

## 編集後記

恒例行事となった全学同窓会講演会では、経団連会長の任期を終えられた榊原本同窓会副会長に貴重なお話をいただきました。特集としてご寄稿いただいたTEDxNagoyaUは毎年開催されており、学生を中心とした素晴らしいイベントが今後も継続されることを期待しております。卒業生の皆様の変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。(全学同窓会広報委員会)

## NUAL Newsletter No.31 平成31(2019)年3月発行

Nagoya University Alumni Association

### NUAL 名古屋大学全学同窓会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL/FAX 052-783-1920

E-mail [nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp)

ホームページ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

編集：名古屋大学全学同窓会広報委員会